

和光の緑と湧き水だより Verda122号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2012. 11. 15 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>

会の活動スケジュール表(予定の所は変更もあります。問合せ下さい) (048-462-9912 高橋)

	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	和光樹林公園
11月	市民祭り 18日(7のテント) 25日低炭素まちづくりフォーラム・生物多様性分科会(講演高橋勝緒氏)	17日 竹切り 市民祭り準備 樹木間伐	10日白子川清掃保全 15日大坂ふれあいの森 ガイドマップ作成	モニタリング調査
12月	湧き水サミット準備	15日 竹林整備	6日富沢湧水保全 20日ふれあいの森保全	モニタリング調査 まとめ

1. 好天に恵まれたふれあい街道「和光の自然と歴史を散策するツアー」

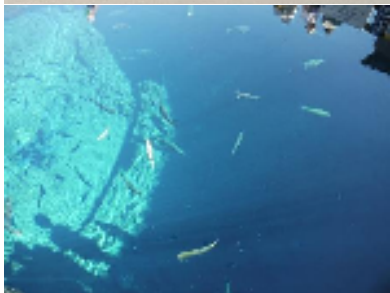
● 湧水の宿場として栄えた白子宿を訪ね、自然の残る富沢湧水や大坂ふれあいの森を散策しながら、川越街道の自然と歴史を学ぶ。午後は、県内でも古い民家・新倉ふるさと民家園を見学し和光を知るツアーとなりました。お昼は、地元野菜を使った「ぼけっとステーション」のふれあい弁当を全員で楽しむ素晴らしいイベントとなりました。



2. 快晴の富士山日和のバス研修会「忍野八海と柿田川湧水視察」



● 総勢34名の和光市の森や川の保全を日ごろ行っているボランティアの参加者達のバス研修会。声掛けは湧き水の会。白雪を冠した富士山のふもとの忍野八海の青い底なしの湧水、次に訪れた柿田川湧水群では、地下水が湧き上がり、あふれる出す湧水の力にただ圧倒されました。美しい日本の風景、水の流れに感動した一日でした。



忍野八海最大の湧池湧水



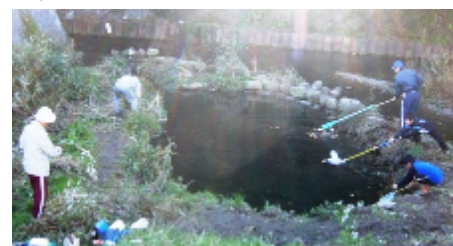
柿田川湧水最大の湧き水井戸



湧き水の流れ柿田川

4. 白子川水辺再生地・草丈2メートルの草刈りと藻刈り

● 平成23年秋にオープンした白子川に触れあえる水辺では、自然の状態で草丈が2メートル以上にもなりほとんど外来種。環境の悪化と危険が増すことで草刈りが必要になりました。同時に池には藻も多く発生し、湧水環境を維持するために、年1, 2回刈出しが必要です。自治会と協力し、ひまわりの会とも協働で水辺の整備を行いました。



9月2日、9月8日、11月10日に水辺保全を行いました。次回は12月2日(日・10時)

夏の草刈りと秋の藻刈りの写真

